

(公財)可児市文化芸術振興財団職員募集要項

(公財)可児市文化芸術振興財団は、令和8年4月1日採用の職員を次のとおり募集します。

(公財)可児市文化芸術振興財団が指定管理者として管理運営をしている可児市文化創造センター（通称アーラ）は、「人間の家」「えがおの劇場」を目指して、可児市が住みやすいまち、生きる意欲に満ち溢れたまちになるよう、各種事業を行っています。

文化芸術が持つ力を活用して可児市のまちづくりに貢献していくために、意欲に溢れた協調性のある人材を募集します。

1. 職務内容、採用予定人数及び受験資格

(1) 職種と主な職務内容

○事務職員 当財団の業務は以下の部門に分かれており、職員の適性や希望などを考慮して職員配置、人事異動を行っています。

【総務部門】

- ・人事、給与、服務、諸規程、研修及び福利厚生に関すること
- ・財団運営に伴う備品の管理に関すること
- ・予算、決算及び経理に関すること
- ・入札に関すること

【制作関連部門】

- ・チケット販売に関すること
- ・ブランディングならびに広報、宣伝、ホームページ等に関すること
- ・フロントスタッフの育成及び支援に関すること
- ・鑑賞型事業及びワークショップ、アウトリーチ、講座等の企画及び実施に関すること
- ・教育、民間、各種まちづくり事業との連携事業に関すること
- ・芸術家の育成及び芸術活動の支援ならびに市民活動の振興及び支援に関すること

【施設管理部門】

- ・施設及び施設利用に伴う備品の貸出し、管理及び受付業務に関すること
- ・施設及び施設利用に伴う備品の利用料金及び利用促進に関すること
- ・防犯、清掃、施設保全管理等に係る業務委託に関すること

(2) 採用予定人数

若干名

(3) 受験資格

次の条件をすべて満たす人。

- ・平成5年4月2日以降に生まれた人（35歳以下）
- ・大学（短期大学を除く）を卒業した人（令和8年3月までに卒業見込みの人を含む）
- ・普通自動車免許を有する人、又は令和8年3月までに取得見込みの人
- ・ワードやエクセル、パワーポイントなどを使用した日常業務を行える程度にパソコンを使うことができる人

※ただし、次に該当する人は受験できません。

- ・拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの

2. 身分、勤務条件

(1) 身分

(公財) 可児市文化芸術振興財団 契約職員

※契約職員とは、常勤の職員で雇用の期間を定める雇用形態のことといいます。

(2) 契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

※勤務成績により、契約期間終了後に一般職員（常勤の職員で雇用の期間を定めないもの）として採用します。

(3) 就業場所

可児市文化創造センター（可児市下恵土3433番地139）

(4) 勤務時間、休憩時間

所定労働時間は、1週間については38時間45分、1日については7時間45分です。土曜日、日曜日、祝日の勤務もあります。1日の勤務時間は午前8時30分から午後10時30分までの間で、施設利用状況や事業実施状況に応じて、3交代制の中で勤務時間を予め指定（うち休憩時間は1時間）します。

早番 8：30～17：15（休憩12：00～13：00）

中番 10：30～19：15（休憩13：00～14：00）

遅番 13：45～22：30（休憩17：15～18：15）

(5) 休日

毎週火曜日（祝日の場合は翌日以後の最も早い平日）及び4週間ごとの期間につき4日間、祝日相当分、年末年始（12月29日～1月3日）

(6) 時間外労働

あり（月平均20時間程度）

(7) 給与、手当

可児市職員の例に準じて支給します。なお、職歴など採用前の経歴に応じて一定の基準により調整します。

①給料

月額202,086円（令和7年4月1日実績。大学卒で職歴なし、地域手当を含んだ金額）

②各種手当

扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当など

(8) 加入保険

雇用保険、労災保険、厚生年金、健康保険

(9) 休暇

年次有給休暇、病気休暇、特別休暇（結婚、出産、育児、夏季休暇など）、介護休暇

(10) 受動喫煙防止措置の状況

屋内禁煙

3. 申込手続き

(1) 提出物

下記の図書を申込期限までに郵送で提出してください。A4サイズ以上の封筒を使用し、封筒の表に「職員採用試験受験」と朱書し、一般書留又は簡易書留により送付してください(申込期限必着)。なお、提出いただいた①②の図書は返却しませんのでご了承ください。

①採用試験申込書 (所定の様式。ホームページ (<https://www.kpac.or.jp>) からダウンロードできます。)

・必要事項を応募者本人が直筆で記入し、指定の写真を貼付してください。

②小論文「『成功体験』と『失敗体験』から学んだこと」

・市販の原稿用紙に800字以内で本人が直筆で記入してください。

③110円切手を貼付した返信用封筒 (長3封筒)

・後日の連絡用に使用いたしますので、切手を貼付し宛先を記入してください。

(2) 提出期限

令和7年12月1日（月）午後5時必着

(3) 提出先

(公財)可児市文化芸術振興財団 総務課 (〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139)

4. 試験内容

(1) 1次試験・・・書類選考 (採用試験申込書、小論文)

・申込時に提出いただいた図書を参考に選考します。

・選考結果は、ご提出いただいた返信用封筒を使用して12月中旬（予定）にお知らせします。

(2) 2次試験・・・事務適性検査、性格適性検査

・令和8年1月中旬（予定）に可児市文化創造センターで実施予定です。

(3) 3次試験・・・面接

・2月中旬（予定）に可児市文化創造センターで実施予定です。

※2次試験、3次試験の詳細については、合格者に後日お知らせします。

なお、日程及び内容については当方の都合により変更する場合があります。

※結果に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

5. 採用予定者の決定

令和8年3月初旬（予定）にご本人へ郵送によりお知らせします。

6. 問合先

(公財)可児市文化芸術振興財団 総務課

住 所： 〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

電 話： 0574-60-3311

F A X： 0574-60-3312

E-mail： entry@kpac.or.jp

U R L： <https://www.kpac.or.jp>